

# TOTO

## 施工説明書

### 水石けん入れ補修部品 (機能部・タンクふた部・逆止弁部)

TH690型  
TH690-5型  
TH695-6型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

## 1 部品の確認

**TH690型**  
＜機能部＞

軸  
機能部  
逆止弁

**TH690-5型**  
＜タンクふた部＞

タンクふた  
Oリング  
黄色チューブ (ムースタイプのみ)  
白色チューブ (ムースタイプのみ)  
スリーブ  
青色チューブ

**TH690-6型**  
＜逆止弁＞

逆止弁本体      SUSボール

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

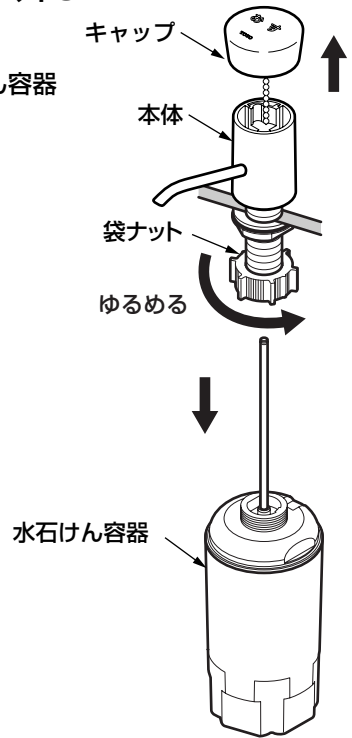
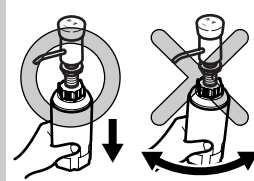
## 2-1 取替方法

### 1 水石けん容器の取り外し

- ①キャップを持ち上げ、外す。
- ②袋ナットをゆるめ、水石けん容器をまっすぐに抜き取る。

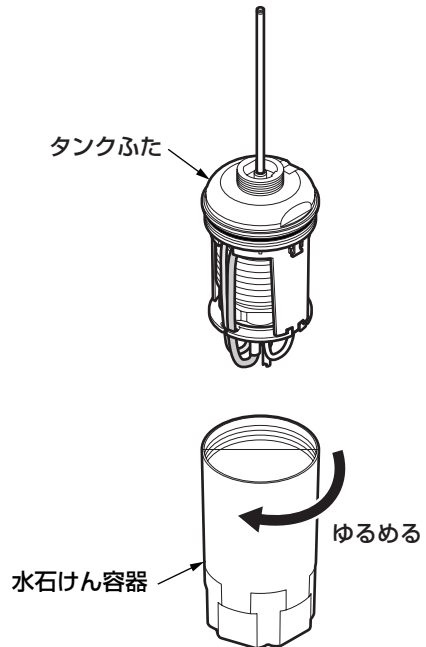
#### 注意

- 水石けん容器に、回す力を加えないでください。
- 水石けん容器は、必ずまっすぐ抜き取ってください。



### 2 タンクふた部の取り外し

タンクふたを固定し、水石けん容器を時計回りに回して外す。

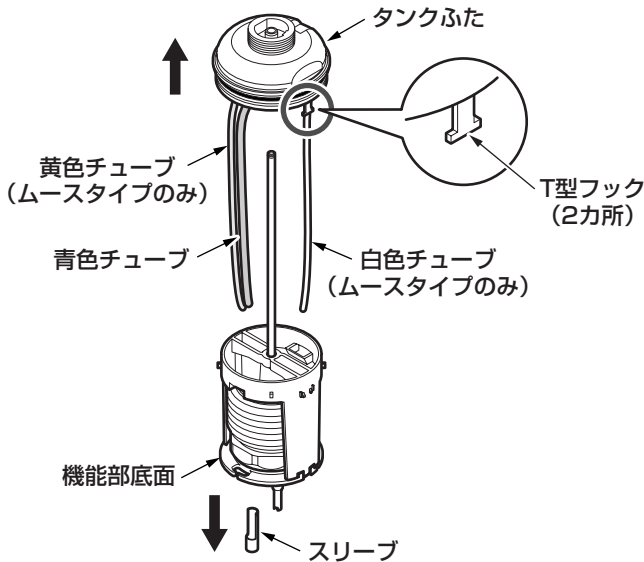


### 3 機能部の取り外し

- ①機能部底面に差し込まれているチューブとスリーブを外す。  
ムースタイプ:3本(青・白・黄色)  
液状タイプ :1本(青色)
- ②タンクふたのT型フック(2カ所)を広げて外す。

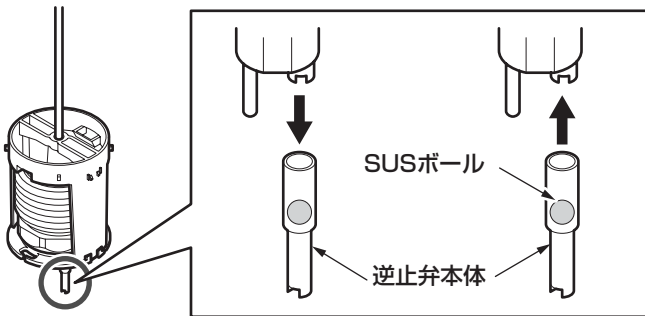
**注意**

フックを広げ過ぎると破損するので、注意してください。



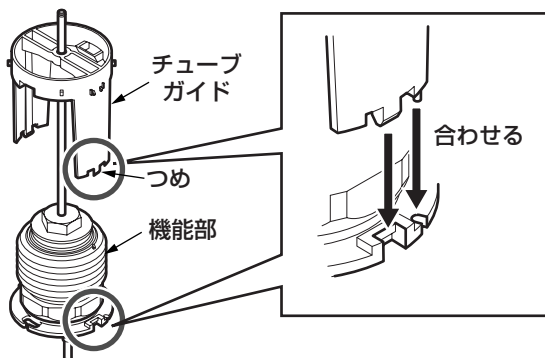
### 4 逆止弁部の交換 TH690-6型の場合

- ①機能部底面の逆止弁本体を引き抜く。  
手で抜けない場合は、マイナスドライバーなどを使用して取り外してください。
- ②新しい逆止弁本体にSUSボールを入れ、機能部底面に奥までしっかり差し込む。



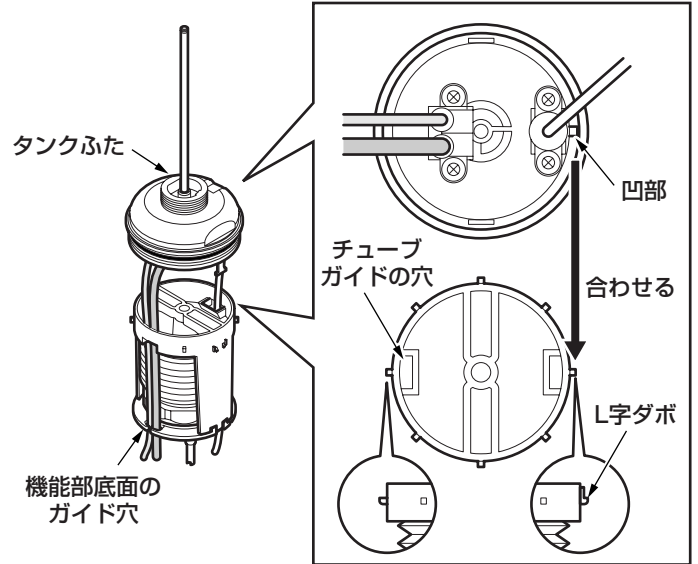
### 5 機能部の交換 TH690型の場合

- ①チューブガイドのつめを広げ、取り外す。
- ②新しい機能部にチューブガイドを取り付ける。



### 6 チューブの接続

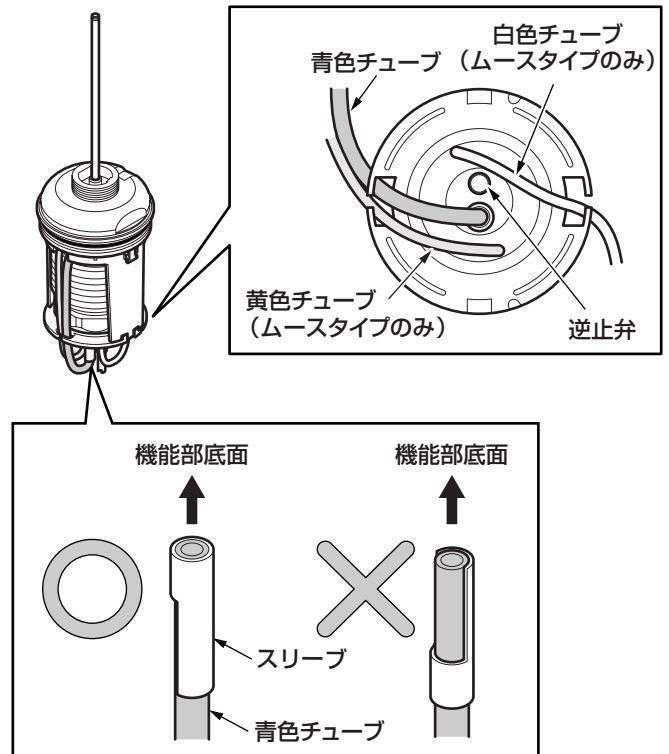
- ①タンクふたの凹部とチューブガイドのL字ダボを合わせて、チューブをチューブガイドの穴に通し、組み付ける。
- ②チューブを機能部底面のガイド穴に通す。



- ③青色チューブにスリーブを向きに注意して差し込む。
- ④機能部底面のチューブ差し込み軸に付いた石けん液をきれいにふき取り、チューブを差し込む。

**注意**

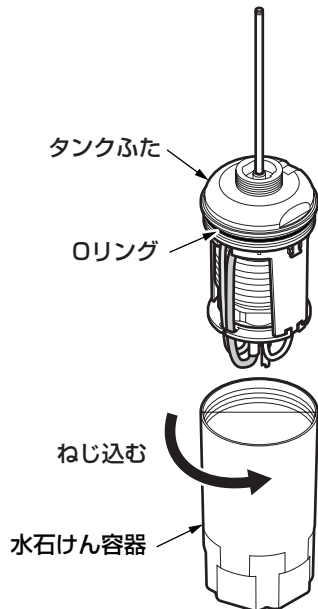
チューブ差し込み軸に付いた石けん液はきれいにふき取ってください。  
チューブの抜ける原因になります。



裏面へつづく

## 7 タンクふたの取り付け

- ①タンクふたのOリングに水石けんを塗布する。  
※すべりが悪いと、取り付けの際、よじれることがあります。
- ②タンクふたを固定し、水石けん容器を反時計回りに回してねじ込む。



## 8 水石けん容器の取り付け

- ①水石けん容器の軸を本体の中にある軸受けに通す。

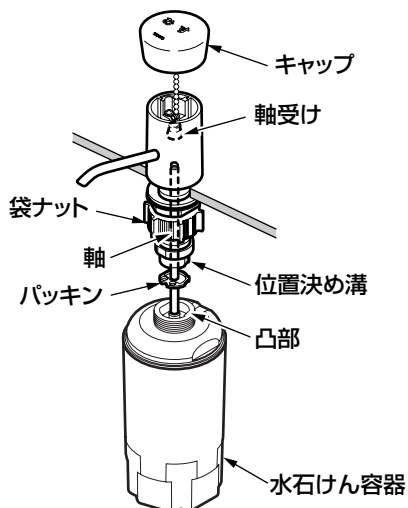
### 注意

パッキンが入っていることを確認してください。

- ②水石けん容器の凸部と本体の位置決め溝を合わせ、垂直に差し込み、袋ナットをしっかり締め付ける。

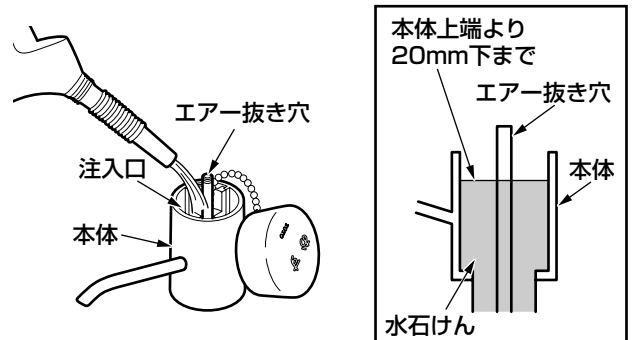
### 注意

- 本体に固定後は、水石けん容器に、回す力を加えないでください。
- 固定ナットがゆるんでいないことを確認してください。

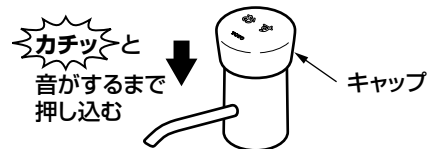


## 9 水石けんの補給

- ①キャップを持ち上げ、外す。
- ②水石けんがエア抜き穴に入らないように注入口よりゆっくりと注ぐ。  
※本体上端より20mm程度下まで注いでください。



- ③キャップの「おす」の字を正面に向け、「カチッ」と音がするまで押し込む。



## 重要

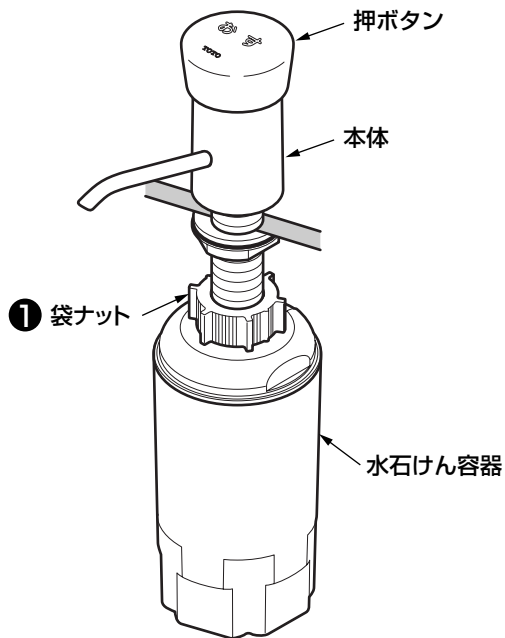
### 水石けんに関する注意点

- 水石けんは、TOTO 石けん液 (推奨希釈倍率:原液～3倍) をおすすめします。  
(水石けんは付属しておりません)  
TOTO水石けん液以外をご使用の場合、ムース状にならなかったり、吐出できない場合があります。  
使用可能な他社水石けんは、 <http://www.toto.co.jp> でご確認ください。
- クレゾールなどの消毒剤および消毒剤の混入された水石けんは使用しないでください。  
器具破損や吐出状態悪化の原因となります。
- 水石けんを補給する際は、補給直前に別の容器で希釈し、補給してください。  
水石けんの原液を先に入れ、後から水を補給すると吐水状態が悪くなるおそれがあります。※水石けんの希釈は水道水で行ってください。  
推奨希釈倍率以外で使用されると、故障したり、吐出状態が悪くなるおそれがあります。
- 補給に使用する容器はきれいなものを使用してください。  
シンナーなどの有機溶剤・洗剤の空き容器などを使用すると故障・異常の原因となります。
- 空になったまま長時間放置しないでください。  
残った水石けんが固まり、次に使用するとき吐出しにくくなったり、出なくなることがあります。

# 3

## 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



### 石けん液漏れの確認

水石けん液を補給後、およそ30分程度経過後に乾いたペーパーで漏れの有無を確認してください。

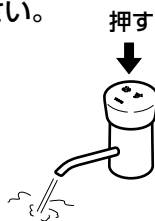
① 袋ナットのゆるみはないですか？

↳ 2-3-8 「水石けん容器の取り付け」参照

### 水石けんの確認

水石けんが出るか確認してください。

※水石けんが出始めるまで、押ボタンを4～5回押してください。以後は押ボタンを押すと適量が出ます。



② 水石けんの種類、希釈倍率は正しいですか？

↳ 2-3-9 「水石けんの補給」参照